

新山梨県立図書館



完成模型 南西側から

山 梨 県
山 梨 県 教 育 委 員 会

□■□ 「山梨県民図書館」を目指して □■□

すべての県民に親しまれ、県民とともに成長・発展していく「山梨県民図書館の構築」を目指して、新県立図書館を整備します。この目標を具体化するための基礎となる考え方が、次の6つの基本コンセプトです。

① すべての県民のための図書館

誰もが利用でき、幅広い分野で知識や情報が得られ、日々の仕事や生活に役立ちます。

② 県民が創造する図書館

県民が主体的に図書館に関わり、あるべき姿を創り出していきます。

③ 開かれた図書館

知識や情報の世界への入口として、誰もが親しみを感じ、気軽に利用できます。

④ 成長する図書館

求められる機能やサービスを新たに見出して成長します。中核的図書館として県内図書館をリードし元気にします。

⑤ 県民の活動を支える図書館

図書館での学びを通して人々が集まり、様々な出会いと交流の舞台となります。

⑥ 山梨の文化を支え、創造する図書館

山梨の文化を継承し、支え、発展させていきます。県民のアイデンティティを育み、地域に輝きをもたらします。

□■□ 建物設計の考え方 □■□

図書館は、本と人を結びつける施設であると同時に、知識を通して人と人を結びつけ、交流を促す施設でもあります。

新県立図書館は、幅広い分野の図書や山梨に関する資料を収集し、レファレンスサービス(*)を行うなど県立図書館としての基本的機能に加えて、そこに集う人と人の交流を促す機能も重視しています。

建物の設計では、本などの図書館資料を利用する閲覧エリアと、交流のためのエリアの間につながりをもたせ、相乗効果を生み出し、全体が一体となって、互いの活動を感じ取ることができる空間構成を重視しました。

施設全体が、本や人との多様な出会いによる知的な創造の場となり、その成果を発信していく拠点となる新県立図書館を整備します。

* レファレンスサービス：図書館司書が、調査研究のための資料や情報の入手を手助けするサービス



完成模型 南東側から

建物の設計では次の3点を重視しています。

1 県民が気軽に本と接することができる図書館

静かなところで、ゆっくり本を読みたい人のための「静寂な場」を確保しながら、多くの人が気軽に本と接することができる、利用しやすい図書館とします。

2 人と人が交流しあう図書館

図書館の資料やサービスを利用するだけでなく、図書館を訪れた人々が互いの情報を交換し、思いがけない出会いや交流によって、新たな情報を生み出していくことができる図書館とします。

3 様々なメディアで情報を伝える図書館

従来の紙媒体による資料に加え、映像や音声、デジタル資料などを積極的に提供していきます。

● 1階

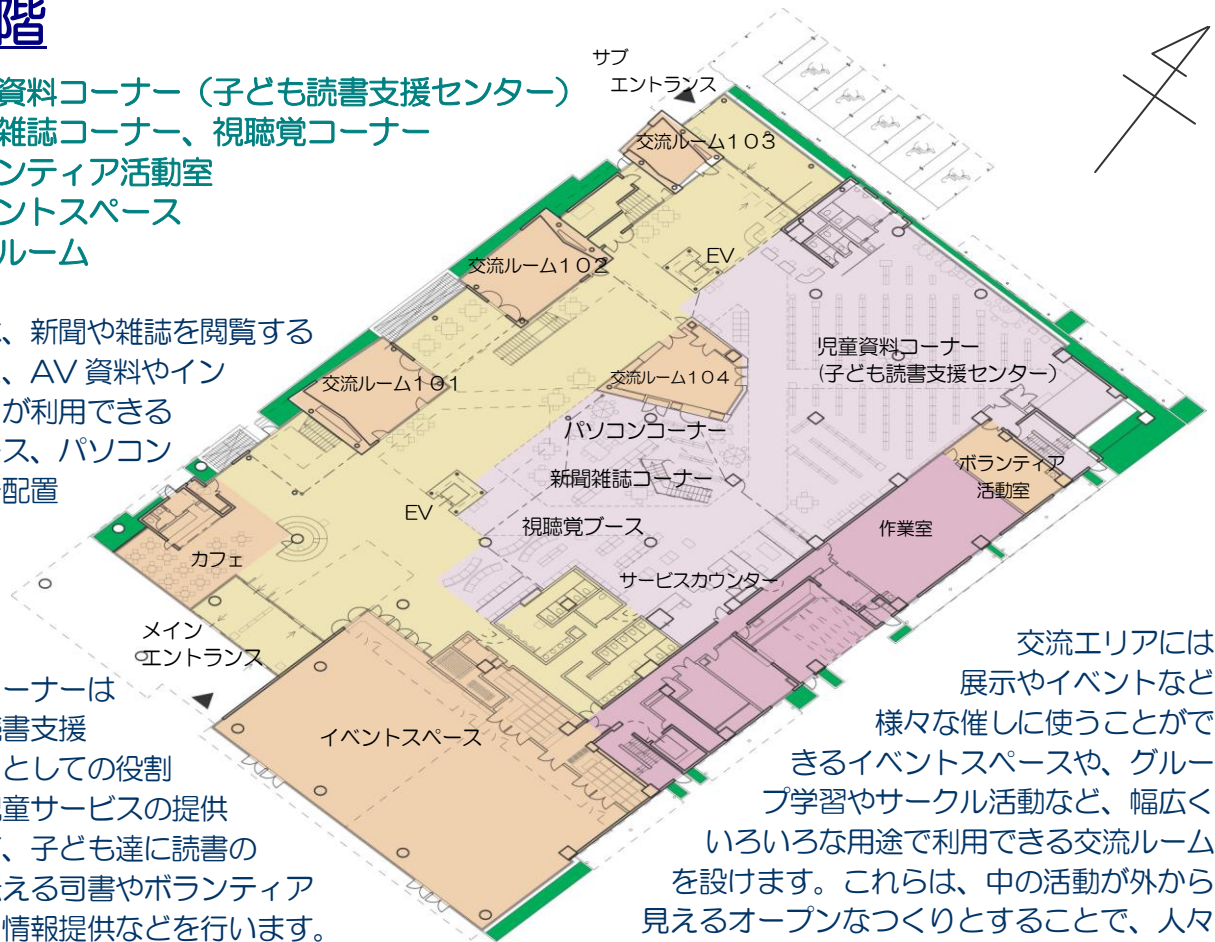
児童資料コーナー（子ども読書支援センター）
新聞雑誌コーナー、視聴覚コーナー
ボランティア活動室
イベントスペース
交流ルーム

中央には、新聞や雑誌を閲覧するコーナーと、AV資料やインターネットが利用できる視聴覚ブース、パソコンコーナーを配置します。

北側の児童資料コーナーは「子ども読書支援センター」としての役割を担い、児童サービスの提供とあわせて、子ども達に読書の楽しさを伝える司書やボランティアへの研修、情報提供などを行います。

また、図書館サービスに協力するボランティアのために、ボランティア活動室を設け、ミーティングや研修に活用します。

交流エリアには展示やイベントなど様々な催しに使うことができるイベントスペースや、グループ学習やサークル活動など、幅広くいろいろな用途で利用できる交流ルームを設けます。これらは、中の活動が外から見えるオープンなつくりとすることで、人々の交流を促す効果を持たせています。



● 3階

サイレントルーム
デジタル作業室

静かで落ち着いた雰囲気の中で、じっくり調査・研究を行うためのサイレントルームを設けます。

オープンテラスでは、ゆったり読書を楽しんでいただけます。

貴重な資料をデジタルデータに変換して、ネットワークでの利用を可能にしたり、ホームページで発信する様々な情報を作成・編集したりするためのデジタル作業室を設けています。



● 2階

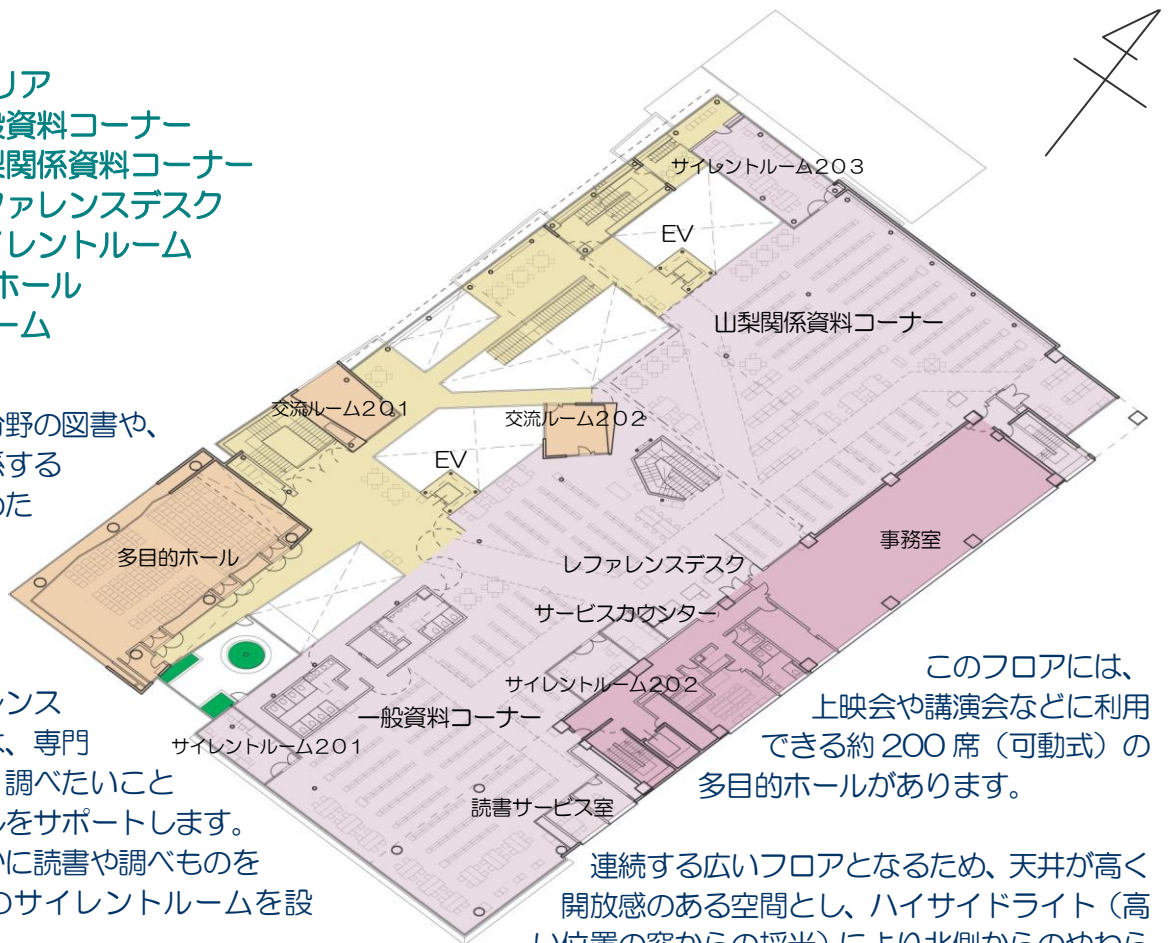
閲覧エリア

- ・ 一般資料コーナー
- ・ 山梨関係資料コーナー
- ・ レファレンスデスク
- ・ サイレントルーム

多目的ホール 交流ルーム

幅広い分野の図書や、山梨に関する資料を集めたメインの閲覧エリアです。

レファレンスデスクでは、専門の司書が、調べたいことや資料探しをサポートします。また、静かに読書や調べものをするためのサイレントルームを設けます。



このフロアには、上映会や講演会などに利用できる約200席（可動式）の多目的ホールがあります。

連続する広いフロアとなるため、天井が高く開放感のある空間とし、ハイサイドライト（高い位置の窓からの採光）により北側からのやわらかい光を取り込みます。

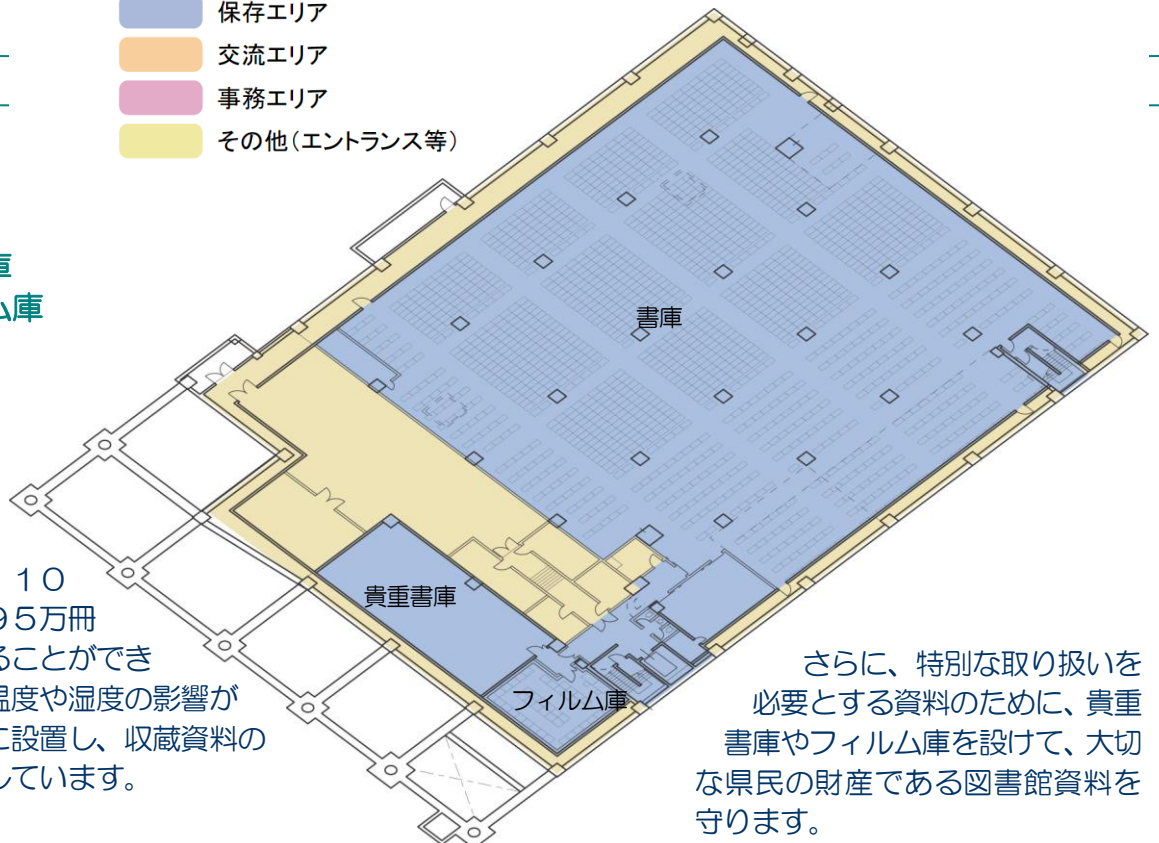
凡例

- 閲覧エリア
- 保存エリア
- 交流エリア
- 事務エリア
- その他(エントランス等)

● 地下

書庫 貴重書庫 フィルム庫

収蔵能力110万冊のうち95万冊分を収蔵することができる書庫は、温度や湿度の影響が少ない地下に設置し、収蔵資料の保存に配慮しています。



さらに、特別な取り扱いを必要とする資料のために、貴重書庫やフィルム庫を設けて、大切な県民の財産である図書館資料を守ります。



外観イメージ（南東側から）

■ まちと一体感のある施設

南面と西面にはガラスを多く使い、街路から館内の活動が見えるようにして、まちと一体感を持たせます。

■ 環境にやさしい施設

山梨の豊かな自然エネルギーを大切に使い、環境に配慮した図書館となります。

● 省エネルギー対策

都道府県立図書館の中で最大規模（105kW）の太陽光発電パネルを屋上に設置し、自然エネルギーの積極的な利用を図ります。

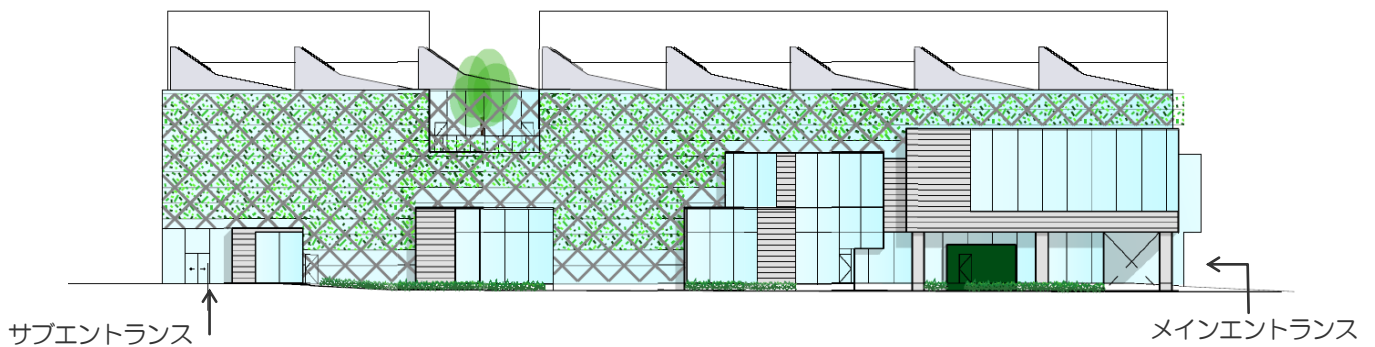
西面と南面の外側に壁面緑化を、また南面と東面の一部に水平ルーバー（*）を採用し、日差しを遮ることで建物温度の上昇を抑えます。

* ルーバー：窓に取り付けた羽板状の日よけ

● リサイクルや循環資源の採用

建物の材料にリサイクル製品や、土に還ることで環境への負荷を抑えられる循環資源（エコマテリアル）を採用します。

西側立面図



■使いやすい施設

わかりやすい案内表示の工夫や多目的トイレの設置など、ユニバーサルデザインに配慮した「どこでも、誰でも、自由に、使いやすい」図書館とします。

● わかりやすく、使いやすい施設

建物の内部は広く見渡せる構造とし、利用したい場所や窓口の位置関係がわかりやすく使いやすい施設とします。

● 建物外部からの誘導

点字ブロックと視覚障害者向け音声システムを設けます。

● 建物内部の案内

大きく見やすいシンプルな表示とします。JIS や ISO 規格によるピクトグラム(絵文字)も積極的に用います。

● エレベーター

2 台の利用者用エレベーターはユニバーサルデザイン対応とし、外が見えるシースルタイプを採用します。また、事務用エレベーターには救急用のストレッチャーが入るタイプを設置します。

● トイレ

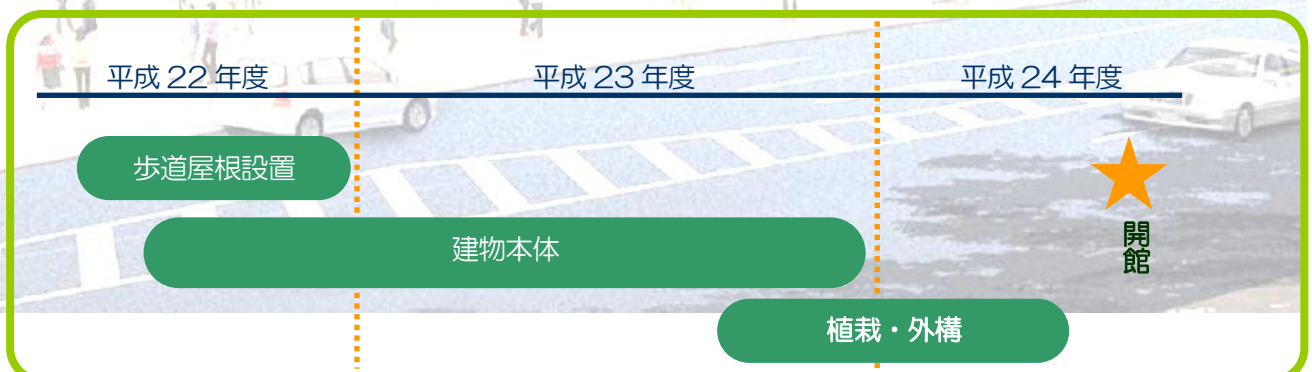
1~3 階に、各 1 箇所(計 3 箇所)、オストメイト(人工肛門・人工膀胱の保有者)対応の多目的トイレを設けます。また、1 階、2 階には、小さなお子さんを連れた利用者のために親子トイレを、児童資料コーナーには授乳室も設けます。

※新県立図書館では、住民基本台帳カード(住基カード)が、利用カードとして使えます。

■建設工事の概要

- 敷地面積 4,530 m²
- 構造・階数 鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造
地下1階 地上4階建
- 規模 建築面積 3,638 m²
延床面積 10,555 m²
- 最高の高さ 19.59 m
- 仕上げ等 屋根：デッキプレート断熱材敷込みの上、塩ビ系シート防水
外壁：コンクリート化粧打放し補修の上、フッ素樹脂エナメル塗装
押出し成形セメント板、緑化壁

■工事日程



■ □ 山梨県立図書館の沿革 □ ■

- 明治 33(1900)年 10月 ●山梨教育事務所内に山梨教育会附属図書館を開設、蔵書数 1,121 冊
- 昭和 5(1930)年 10月 ●根津嘉一郎氏(初代)の寄付による新図書館開館
- 昭和 6(1931)年 4月 ●山梨教育会附属図書館を山梨県に寄付、山梨県立図書館として発足
- 昭和 21(1946)年 8月 ●アメリカ軍政部が館舎を接収
(~昭和 25 年 4 月)
- 昭和 26(1951)年 10月 ●甲州文庫搬入
- 昭和 28(1953)年 10月 ●自動車文庫「みどり号」巡回開始
- 昭和 45(1970)年 6月 ●新館落成、開館
鉄筋コンクリート造 地下 1 階、地上 4 階建
- 昭和 48(1973)年 10月 ●19 市町村に一坪図書館を設置(50 館)
- 昭和 59(1984)年 5月 ●巡回指導車「ふるさと号」の市町村巡回開始
- 平成 5(1993)年 10月 ●電算業務システム稼働
- 平成 6(1994)年 11月 ●山梨県図書館情報ネットワークシステム稼働
- 平成 9(1997)年 5月 ●デジタルアーカイブ事業を開始
- 平成 17(2005)年 4月 ●甲州文庫を県立博物館へ移管
- 平成 19(2007)年 5月 ●山梨県新県立図書館整備検討委員会設置
- 平成 20(2008)年 1月 ●整備検討委員会「新県立図書館整備に関する報告」知事に提出
- 平成 20(2008)年 9月 ●「新県立図書館整備計画」策定
- 平成 22(2010)年 3月 ●新県立図書館建物設計完了
- 平成 24(2012)年 11月 ●新県立図書館開館予定



旧図書館(昭和 5 年竣工)



みどり号の巡回(昭和 30 年代)



現県立図書館(平成 11 年頃)



新県立図書館完成予想図

改訂版：平成 23 年 10 月 7 日

山梨県教育庁新図書館建設室

TEL055-223-1795

FAX055-223-8890

e-mail toshokan-ken@pref.yamanashi.lg.jp

URL <http://www.pref.yamanashi.jp>

/toshokan-ken/index.html

